

武雄市行政改革プランの主な成果〔平成24年度〕

本市では、平成28年度以降には合併支援措置が縮小・廃止されるなど収支状況の悪化が懸念されることから、平成23年に第2次行政改革プランを策定しました。平成24年度についても、前年度に引き続き、様々な取り組みを実施しました。

行政サービスの最適化

事業の「選択」と「集中」



図書館 365日開館に向けて

- ◆市民の利便性の向上を目指し、武雄市図書館を指定管理者へ委託することにより365日開館を実現しました。
- ◆武雄保育所の民営化に向けた準備に着手しました。

組織と人

組織改革



「フェイスブックシティ課」「海外対策課」の新設

- ◆「フェイスブックシティ課」を新設し、情報発信の強化を図りました。
- ◆「海外対策課」を新設し、観光客誘客や特産品のアジア市場への販路開拓を図りました。

定数管理



職員数 5名減

- ◆職員数を削減するなど人件費を抑制しました。 約4,000万円削減

財政基盤の強化

歳出の抑制



約1,700万円の効果

- ◆残業禁止令・時差出勤制度の導入により、時間外手当 約1,300万円の削減
- ◆圧着はがき導入により、郵便料・人件費 約350万円の削減

自主財源の確保



約7,000万円の効果

- ◆滞納整理強化により徴収率が0.4%UPしました。 約2,000万円の増収

- ◆遊休資産（土地・建物）を売却しました。 約5,000万円の増収

公営企業・特別会計等の経営健全化



約2億3,000万円の効果

- ◆上水道事業：佐賀西部広域水道からの受水抑制など、約1,600万円の削減
滞納整理による収入の確保等、約800万円の増収
- ◆工業用水道事業：契約水量の増等、約300万円の増収
- ◆土地開発公社：土地の処分等、約1億9,000万円の増収
- ◆競輪事業：包括委託による経費削減など、約1,300万円の削減